

2024 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 臨床検査技師科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義実習 |
|---|---------|-----------------|--|----------------|-----------------------|---------------|
| 科 目 名 | 染色体検査学 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 15 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 2年生 | | 学期及び曜時限 | 前期 土曜日 | 教室名 | 801 802 7F実習室 |
| 担 当 教 員 | 井戸田 篤 | 実務経験と その関連資格 | 実務経験30年 遺伝子分析科学認定士 | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 出生前診断や急性白血病などの血液疾患において必要性の高い、染色体検査の基礎・概論から検査手技、さらに結果の解釈と疾患への診断方法を学習する。また近年注目されている、遺伝子検査技術との組合せによる、FISH法など、詳細な染色体解析も学習内容に加え、大学病院等の臨床検査・研究室における細胞培養基礎技術を習得する。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| b | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| テキスト: 遺伝子・染色体検査学、参考書: 血液検査学、遺伝子検査技術、配布資料、遺伝子分析科学 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 遺伝子・染色体検査学の熟読 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 注意事項が多い検査であり、真剣な取り組みを必要とします。細胞培養では助言を聞いていないと失敗します。 | | | | | | |
| 授業の 方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 染色体の基礎知識を理解できるようになる。 | 配布資料 染色体検査学 | 特になし | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 講義: 遺伝のしくみ、遺伝子と染色体の構造、細胞分裂と染色体形成による形質・機能の伝播、染色体分析の意義について | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 染色体の基礎知識を理解できるようになる。 | 配布資料 染色体検査学 | 特になし | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 講義: 遺伝のしくみ、遺伝子と染色体の構造、細胞分裂と染色体形成による形質・機能の伝播、染色体分析の意義について | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 細胞培養の基礎知識と検査法の原理を理解できるようになる。 | 配布資料 染色体検査学 | 特になし | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 講義: 血液培養技術と染色体分類 染色体分析の特殊検査法 | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 細胞培養の基礎知識と検査法の原理を理解できるようになる。 | 配布資料 染色体検査学 | 特になし | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 講義: 血液培養技術と染色体分類 染色体分析の特殊検査法 | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | FISH検査の基礎知識を理解できるようになる。 | 配布資料 染色体検査学 | 特になし | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 講義: FISH検査技術、検査方法と解釈、臨床病理診断、出生前診断 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|----------------------------------|----------------|-------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | FISH検査の基礎知識を理解できるようになる。 | 配布資料 染色体検査学 | 特になし |
| | | 各コマにおける授業予定 | 講義:FISH検査技術、検査方法と解釈、臨床病理診断、出生前診断 | | |
| 第7回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 細胞培養の基礎技術を習得できる。 | 配布資料 染色体検査学 | 特になし |
| | | 各コマにおける授業予定 | 実技実習:末梢血液の細胞培養と染色体検査標本の作製 | | |
| 第8回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 細胞培養の基礎技術を習得できる。 | 配布資料 染色体検査学 | 特になし |
| | | 各コマにおける授業予定 | 実技実習:末梢血液の細胞培養と染色体検査標本の作製 | | |
| 第9回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 染色体検査技術全般と解釈方法を習得できる。 | 配布資料 染色体検査学 | 特になし |
| | | 各コマにおける授業予定 | 実技実習:染色体分析の実際 実技試験:染色体分類技術の評価 | | |
| 第10回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 染色体検査技術全般と解釈方法を習得できる。 | 配布資料 染色体検査学 | 特になし |
| | | 各コマにおける授業予定 | 実技実習:染色体分析の実際 実技試験:染色体分類技術の評価 | | |
| 第11回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第12回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第13回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第14回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第15回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |